

2. 鱒ヶ沢漁業用海岸局

I 事業目的

試験船，取締船並びに一般漁船との間に漁業監督通信を行なうことによって，操業秩序の維持漁場の適正管理及び 200 海里内における漁船の安全と海難の防止を図り，併せて漁業経営の安定に資する。

II 事業内容

1. 実施期間 昭和53年4月～昭和54年3月
2. 交信海域 青森県沖合，日本海全域，北海道近海，三陸沖合，朝鮮東部，沿海州沿岸，北部太平洋海域
3. 担当者 局長 長谷繁蔵
総括主任 竹森武一
主任 工藤衛
技師 大友守
4. 取扱通信種別
 - (1) 漁業指導監督通信
 - A 日本海サケ，マス漁場位置報告通信
 - B 試験船，取締船との指導監督通信
 - C 調査協力船との漁海況情報事業通信
 - D 漁海況収集速報通信
 - E 試験との海洋観測通信
 - F 北部太平洋，サケ，マス指導監督通信
日韓共同規正水域位置報告通信
 - H 200海里内漁獲報告通信
 - (2) 遭難，緊急，安全通信
 - (3) 保安，要急，航路警報通信
 - (4) 漁業気象通信
5. 通信方式
 - (1) 無線電話（SSB）による送受信
 - (2) 気象，漁海況のファックス受信
 - (3) SOS－自動受信機による無休聴守

(4) セルコール方式通信

6. 勤務形態

24時間連続宿日直勤務

Ⅲ 事業結果

第1表 漁種別, 施設別隻数

S 54.3.31現在

漁種 \ 施設別	電信電話併設	電話船	合計	前年度計	前年度比
官庁船	3隻	3隻	6隻	7隻	85.7%
沖合底曳	0	11	11	11	100
イカ専業	0	103	103	89	115.7
イカ, マス兼業	0	31	31	41	75.6
合計	3	148	151	148	107.1

第2表 地域, トン数別隻数

S 54.3.31現在

トン数 \ 地域	官庁	沢辺	深浦	鯨ヶ沢	市浦	下前	小泊	三厩	青森	八戸	岩館	合計
10トン以下		2	8			20	23	4	1		1	59
11~20トン	1		3	8		13	11	7				43
21~50トン	3		4	9	2	9	10		2	1		40
51~100トン		1	1				4		1			7
101トン以上	2											2
合計	6	3	16	17	2	42	48	11	4	1	1	151
前年度計	7	2	16	17	3	47	40	9	5	1	1	148
前年度比	85.7%	150%	100%	100%	66.7%	89.4%	120%	122.2%	80%	100%	100%	102%

第3表 空中線電力別隻数

S 54.3.31現在

種 別 \ 出 力	10W以下	50W以上	A1併設
官 庁	2 隻	1 隻	3 隻
民 間	94	51	0
合 計	96	52	3
前 年 度 計	93	52	3
前 年 度 比	103.2 %	100 %	100 %

第4表 特殊設備

設 備 \ 年 月 日	中 短 波 探 方	27M方探	レーダー	ロ ラ ン	セルコール	NNSS	ファックス	国 際 V H F
S 54.3.31	71隻	116隻	151隻	149隻	6隻	3隻	3隻	1隻
S 53.3.31	72	117	148	128	6	1	3	1
前年度比	98.6%	99.1%	102%	116.4%	100%	300%	100%	100%

第5表 船舶局従事者選任員数

年 月 日 \ 資 格	電 信 級	電 話 級	特 技 甲	合 計
S 54.3.31	5名	72名	96名	173名
S 53.3.31	5	64	79	148
前年度比	100%	112.5%	121.5%	116.9%

第6表 船舶局従事者選任件数

年 月 日 \ 資 格	電 信 級	電 話 級	特 技 甲
S 54.3.31	2 名	5 名	2 名
S 53.3.31	2	5	6
前年度比	100 %	100 %	33 %

第7表 取扱通信実績

S 5 4 . 3 . 3 1 現在

月	種別	指導監督	気象	漁業	事故	アラム	保安	相手局数	通信時間
		件	時	件	件	件	件	局	時
4		2,401	22.30	1,267	2	0	16	861	455.00
5		5,932	23.15	3,937	0	0	15	2,047	470.10
6		3,407	22.30	1,972	1	0	9	1,842	455.00
7		5,089	23.15	3,779	1	0	11	396	470.10
8		4,082	23.15	3,284	1	0	12	2,712	470.10
9		5,125	22.30	3,937	0	1	22	1,118	455.00
10		5,099	23.15	4,070	2	0	14	3,030	470.10
11		4,203	22.30	3,278	1	0	12	2,636	455.00
12		1,509	23.15	857	0	1	14	1,015	470.10
1		1,007	23.15	290	0	0	14	540	470.10
2		826	21.00	298	0	0	18	516	424.40
3		1,543	23.15	757	0	0	21	754	470.10
合計		40,223	273.45	27,726	8	2	178	20,367	5,535.50
前年度計		32,694	273.50	23,237	8	6	157	16,859	5,513.30
前年度比		123%	99.98%	119.3%	100%	33.3%	113.4%	120.8%	100.4%

1. 業務，技術指導

(1) 業務指導 1回 50名

(2) 技術指導 60回

IV 事業の成果及び今後の課題

1. 事業の成果

- (1) 気象及び漁況を定時放送することによって，海難を未然に防止し漁業の生産性を高めた。
- (2) 漁海況情報事業を強力に推進したことによって，日本海における予報事業の円滑化と資源究明に大きく貢献した。
- (3) 200海里内漁獲位置報告緊密な通信の確保により漁獲量の適正化と安全操業に寄与した。

2. 今後の課題

- (1) 27M1W海岸局の運用面についての指導を強化すべきである。
- (2) 検査業務の促進を図り，未検査船の解消に努めるべきである。
- (3) 割当時間の不足から当番船方式に移行する必要がある。
- (4) 局舎及び無線機器の老朽化に伴ない改築または更新が望まれる。